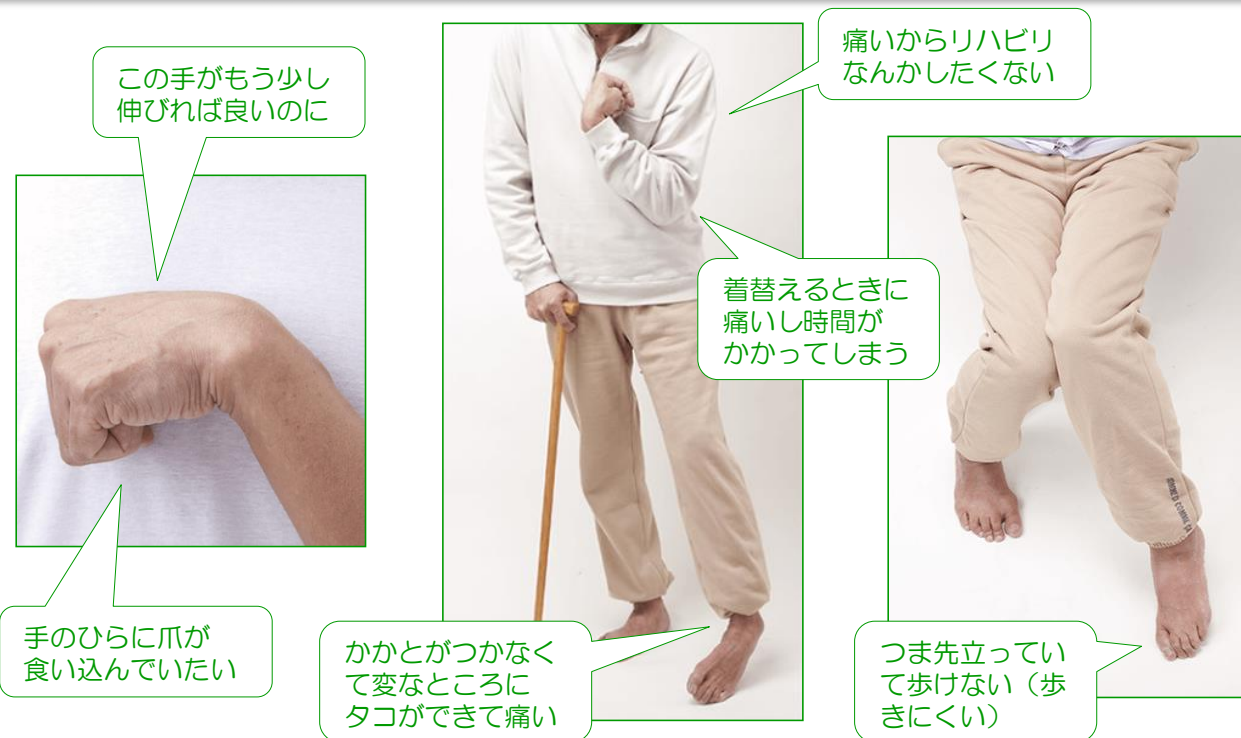


手足のつっぱり（痙縮けいしゅく）の症状をやわらげる治療法があります



手足のつっぱり（痙縮けいしゅく）とは？

脳卒中や脊椎損傷などの後遺症としてよくみられる運動（機能）障害の一つで、筋肉が緊張しすぎて手足を動かしにくかったり、勝手に動いてしまう状態のことです。

痙縮の治療法は？

現在、痙縮の治療には、内服薬、ボツリヌス療法、神経ブロック療法、外科的療法、バクロフェン髄注療法などがあります。患者さんの病態や治療目的を考慮して、リハビリテーションとこれらの治療法を組み合わせで行います^{注1)}。

ボツリヌス療法とは？

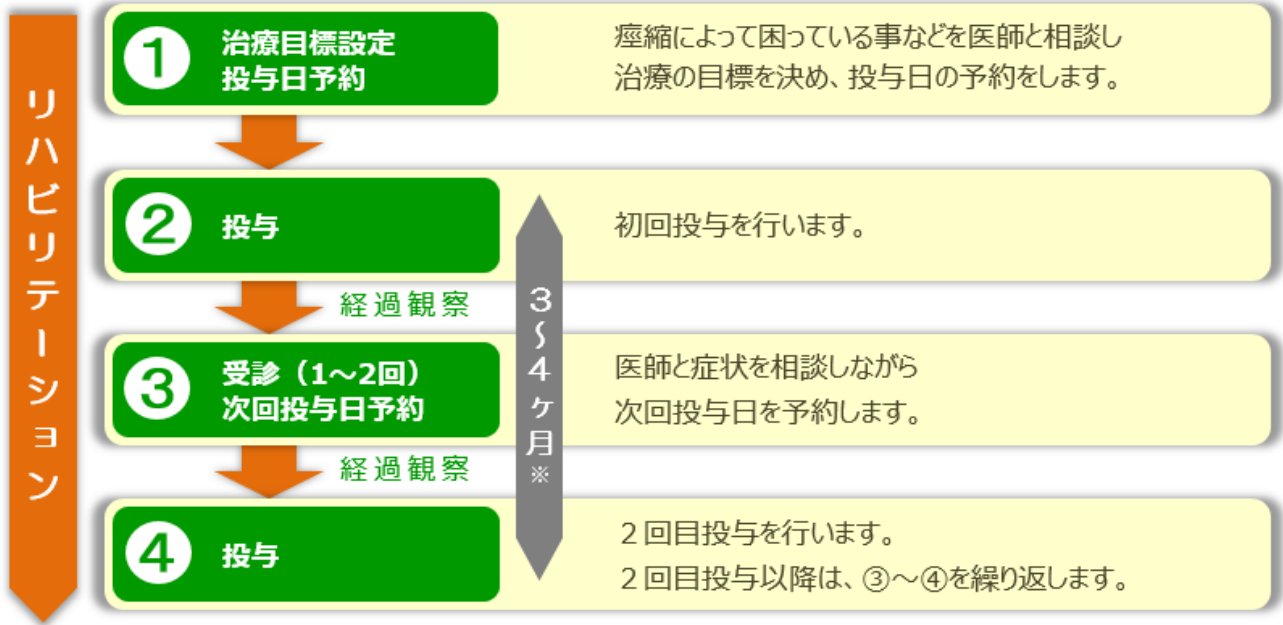
痙縮に対するボツリヌス療法は、「脳卒中治療ガイドライン2009」でグレードAで推奨されている治療法です。ボツリヌストキシンという天然のたんぱく質を注射し、筋肉を緊張させている神経の働きを抑えることで、痙縮による筋肉の緊張をやわらげることができます^{注2)}。

ボツリヌス菌そのものを注射するわけでは無いので、感染する危険性はありません。

注1) ボツリヌス療法はリハビリテーションを一緒に行うことで日常生活の動作などが行いやすくなるのが期待できます。

注2) 効果は徐々に消えてしまうので治療を続ける場合は年に数回（3～4回）注射を受けることになります。

ボツリヌス療法のすすめかた



※次の投与までの期間には個人差があります。

●ボツリヌス療法で期待できること

日常生活が
しやすくなります



リハビリテーションが
しやすくなります



関節が固まって動きにくくなっ
たり、変形するのを防ぎます



介護の負担が軽くなります



痛みをやわらげる効果が期待できます



●ボツリヌス療法の注意点

- 1.ボツリヌス療法は保険適応がありますが、障害者手帳（1~2級）をお持ちでない方は医療費が高額になる場合があります。
- 2.効果は個人差が大きいことを御理解ください。

当院では痙縮に対するボツリヌス治療を実施しており、私はこれまでに200例以上の方にボツリヌス療法を行ってきました。

小さなお子様からご高齢の方まで、お悩みの患者さんがいらっしゃいましたら当院までお問い合わせください。

痙縮以外の治療、投薬に関しましては現在の医療機関様で継続いただけます。

